

# フィンドレー大学留学レポート

鈴木ひばり

12月は1つのセミスターが終わる月でした。一週目はテストに追われ、様々なレポートにも追われ、大学生らしい忙しい日々を送っていました。

テストが終わり、10日に「Church Choir」のコンサートがありました。私は毎週日曜日にキリスト教を学ぶことも含めて教会に通っています。私はChoirクラブの一員でもあったため、教会で歌うということに興味があり、先生に相談したところクリスマスコンサートだけ歌わせていただけることになり、友達と一緒に参加しました。教会の方々はとても優しく私達を受け入れていただきました。

アメリカの人にとっては難しい「ri」の音を含んだ私の名前を覚えようと頑張ってくれる方もたくさんいました。コンサート当日はたくさんの人々が来てくれました。来てくれた人は友達だけではなく、私達のことをお家に呼んでくれた人など今までお世話になった人達もたくさん見受けられ、感無量でした。

12月は別れの季節です。1学期だけで終わる日本人や、インターンとしてこの大学に来ていたコロンビア人の友達とお別れをしました。別れはいつだって悲しいものです。よく「別れがあれば出会いもある」と言いますが、毎回の別れの辛さに私はまだ慣れることが出来ていません。しかし、別れが辛い分私は出会えた人に恵まれていたんだなと実感します。これから新しいセミスターで会える人もとても楽しみです。



12月は冬休みがあります。私は日本人の友達と冬休みの旅行の計画を2か月前ごろから練りに練っていました。アメリカで旅行の予定を立てるのは本当に大変でした。何しろアメリカはとても広く飛行機移動が必須です。私達はカリフォルニア→ラスベガス→サンフランシスコ→ニューヨークという順で回りました。約2週間の長旅でした。旅行はとても楽しくどこを切り取ってもたくさんのハイライトで溢れています。アメリカの観光地は危険と隣り合わせだというイメージを持っている方もたくさんいると思います。しかし、ずっと身の危険を感じているわけではありませんでした。2週間という長旅をアクシデントは何もなく終わることが出来ました。私はこの旅行を経て日本の技術や接客のレベルの高さに驚きました。アメリカ旅行をしても尚、日本ってなんでいい国なんだろうと自分の中の愛国心を抑えずにはられません。しかし、どこも本当に楽しくて自分でお金を稼いでからまたアメリカ旅行をすることが目標です★冬休みは長く、ほとんどの学生が学内からはいなくなるので旅行をすることをお勧めします。

年越しはフィンドレーに残った友達と迎えました。日本に一時帰国した友達が鍋キューブを買って来てくれて、鍋をみんなで囲みました。年越しそばも食べました。日本食、心に沁みます。はやく海鮮丼や牛タンを鱈腹食べたいです～！

最近はネイティブの人と話す場面が多く、自分の英語力の成長やまだ足りないところを沢山知る機会があります。やっぱりまだ自分の言いたいことの100%を英語で伝えることは出来ず、そんな自分に嘆いてしまうことも多々あります。あと1セミスターで自分の想いを伝えられる英語力を取得することが目標です。そろそろ始まる新しい学期！新しい学期が始まること与时めきがとまりません！

